

# Information イベントカレンダー

## ■ こどもとおとなの自然塾 ～秋の夜に虫の声をきこうかい～

- ・日時：9月9日(土)  
17:00～19:00(雨天中止)
- ・集合場所：東武東上線柳瀬川駅西口 サミット前広場
- ・内容：夕方に川原で虫を捕まえて観察し、暗くなったら川原と近くの公園でじっくりと虫の声を聴きます
- ・参加費：1世帯 200円  
会員は100円、中学生以下は無料
- ・持ち物：飲み物、長袖シャツ、長ズボン、虫取り網、懐中電灯、筆記用具、あれば虫除け、ルーペ等
- ・共催：NPO法人エコシティ志木
- ・後援：志木市立教育サービスセンター
- ・お問い合わせ：048-471-2211  
(教育サービスセンター)

## ■ 柳瀬川・野鳥ウォッチング&水族館

- ・日時：9月17日(毎月第3日曜日)  
9:00～12:00(雨天中止)
- ・場所：志木中学校前の柳瀬川土手
- ・内容：【野鳥調査】  
柳瀬川に沿って約4km 弱を散策しながら調査します  
【魚類調査】  
柳瀬川で魚を捕り、「調査」と「水族館」展示をします
- ・参加費：200円(保険代)  
家族参加は家族全員で1名扱い
- ・持ち物：【野鳥調査】  
双眼鏡、季節の対策、あれば野鳥図鑑  
【魚類調査】  
川に入れる格好、季節の対策、あれば魚類図鑑
- ・主催：NPO法人エコシティ志木、  
(財)埼玉県生態系保護協会 志木支部
- ・協力：黒目川に親しむ会
- ・お問い合わせ：048-471-4275(毛利)

## ■ 水フォーラム2006 ～東京湾と荒川・利根川・多摩川を結ぶ～

- ・日時：9月16日(土)  
10:00～16:30(9:30受付)  
受付は各分科会の会場で行います。
- ・場所：大宮ソニックシティ  
午前の部 <分科会> 6階会議室  
午後の部 <全体会> 小ホール
- ・内容：【午前の部】10:00～  
第1分科会「源流の保全と市民的課題」  
第2分科会「治水と利水、地域づくりの課題」  
第3分科会「河川環境と水質の保全」  
第4分科会「市民・行政・企業の連携と課題」  
【午後の部】12:45～  
特別講演 進士 五十八氏  
(東京農業大学地域環境科学部教授、前同大学長)
- ・参加費：無料  
ただし、会場内は指定業者のお弁当のみ飲食可能なため、お弁当希望の方は申し込み時にご連絡下さい。  
(代金1000円は引換え時に支払い)  
会場周辺には、食堂やレストランなどもあります。
- ・主催：水フォーラム2006実行委員会  
NPO法人 東京湾と荒川・利根川・多摩川を結ぶ水フォーラム
- ・後援：国土交通省関東地方整備局、埼玉県、群馬県、  
(独)水資源機構、埼玉新聞社ほか
- ・申込方法：お名前と希望する分科会、連絡先(郵便番号・TEL・FAX・e-mail)を明記の上、FAXまたは郵送でお申込下さい。
- ・お問い合わせ：〒335-0025  
埼玉県戸田市南町3-20(大石)  
TEL048-442-2276
- ・交通：JR大宮駅下車 西口から徒歩5分  
地下駐車場あり

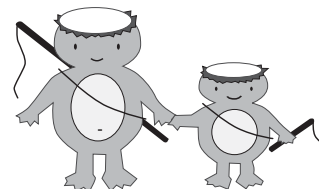
## 事務局便り

### しんぶん「里川」掲載情報を大募集します!

各流域や地域での活動報告やイベント情報を募集しています。身近な情報などをお手紙またはFAX・メールにて事務局までお寄せ下さい。

### 川づくり連絡会に参加してみませんか?

原則第2火曜日に清瀬市野塩地域市民センター(住所:清瀬市野塩1-322-2)にて開催しています。参加希望の方は右記事務局までお問い合わせください。(開催場所は都合により変更する場合があります。)



### ■ 連絡先

〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1  
新河岸川流域川づくり連絡会 事務局  
(国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課内)  
TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346  
URL <http://www.ara.go.jp/arage/shingashi/>  
E-mail shingashi@ara.go.jp

# THE SHINGASHI BASIN NEWS

## 新河岸川流域しんぶん



発行 ● 新河岸川流域川づくり連絡会(荒川下流河川事務所 調査課内)  
住所 ● 東京都北区志茂5-41-1 TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346  
発行日 2006年(平成18年)8月30日



切り絵 毛利将範

日中はまだまだ暑い日々が続いていますが、気がつけばもう9月。夕方、耳をすましていると、秋の気配をうかがわせる虫たちの鳴き声が聞こえるようになってきました。  
今号の里川では、7月1日に行われた第10回新河岸川流域川づくり見学会・交流会と7月下旬から新河岸川流域の各支川において開催された川まつりのうち前半の5つを報告します。川まつりに参加した子供たちは、川に入り、魚たちを追いかけ、素敵な夏休みの思い出を作っていた様子でした。今後も、もっと川を身近に感じ、川に興味を持ってほしいと思います。新河岸川流域では、外来種であるオオクチバスが年々増えています。将来の生態系の保護と生物多様性の確保のため、今後の対策を真剣に考えていくべきであると感じました。

目次	
P 2-3	第10回新河岸川流域川づくり見学会・交流会 ～不老川～の報告
P 4-6	新河岸川流域川まつり リレーフェスティバルの報告
P 7	行政からのお知らせ
P 8	新河岸川流域情報



# 第10回新河岸川流域川づくり見学会・交流会 ~不老川~

去る7月1日(土)に第10回の川づくり見学会・交流会を実施しました。不老川では、平成16年4月10日に第1回目の見学会が開催されていますが、今回は、「不老川の総合治水の取り組みと河川環境への配慮について知る」をテーマに、不老川流域における総合治水事業の一環として実施されている多自然型工法の採用による河川整備を見学し、前回見学会からの河川整備の取り組み状況を知ることや、総合治水としての調節池などの整備実態を知ることが目的として見学会を実施しました。

当日は不安定な天気でしたが、連絡会のメンバーをはじめとした17名の参加のもと、5つの区間・場所について見学会が行われました。見学会終了後には交流会が行われ、埼玉県の担当の方にも出席いただき、多くの意見が交わされました。

2

## 【不老川 不老橋～砂久保橋付近】

埼玉県の担当の方から、不老川の河川改修事業と環境面への配慮などについて説明がありました。河川改修事業について

不老川では、総合治水対策事業として平成8年より事業を開始して、平成10年から下流より逐次工事に着手している。平成10年より工事に着手しているものの、上流域の鉄道橋や道路橋付近では川幅が狭く、水の流れが制限されるため、早期の浸水被害軽減が求められる。そうした背景のもと、床上浸水対策特別緊急事業が採択され、現在進められている。床上浸水対策特別緊急事業のメニューは以下のとおりで、平成17年から約5か年にかけて事業を進めて行く計画であるとのこと。

【床上浸水対策特別緊急事業のメニュー】

河道改修：施工延長 L=4.4km

西武新宿線橋梁架換：1箇所  
一般国道463号橋梁架換：1箇所  
環境面への配慮について

河川の両側に民家が密集しており、新たに用地買収は困難なため、行政の所有する敷地内で河川改修していくことを基本として断面を決めていることから、1:0.5の勾配で改修せざるを得ないが、その中で如何に環境面に配慮して進めていくかで検討している。護岸形式は様々な制約のもと、環境保全型ブロックの擬石系・ボックス系を選択したが、植生は自然に生えることを基本としているとのこと。また、既存の樹木については、極力残すことを基本としているとのこと。

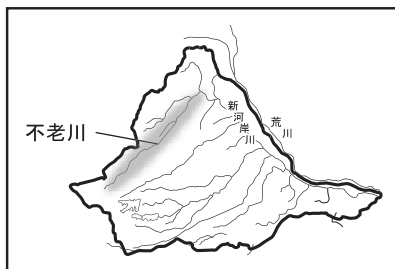
参加者の皆さんからは、ブロックの設置方法や、強度などの質問がありました。



(上)久保川合流点付近で説明

(上)不老川左岸を歩く参加者

(左)砂久保橋付近にあるエノキ。かなりの樹齢年数が経過しているが、歩道拡幅工事の計画により伐採されてしまう可能性が。

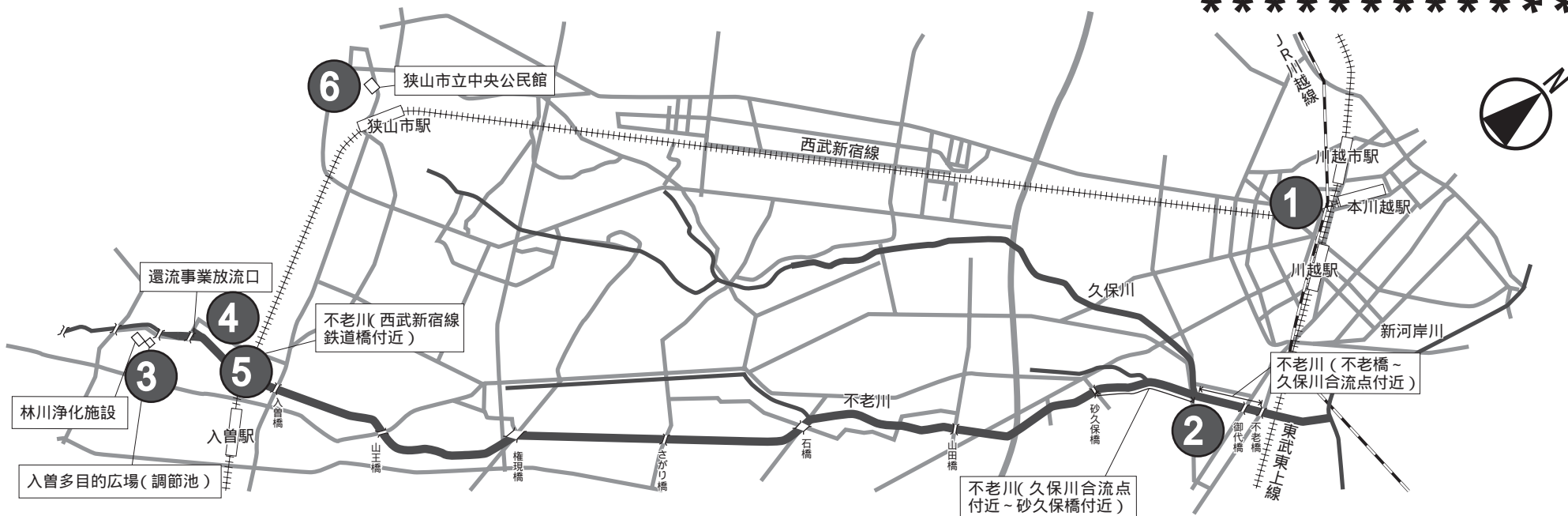


1

## 【川越駅・本川越駅】

第10回の見学会・交流会は、川越駅、本川越駅の集合ではじまりました。

- \* 当日の実施工程（見学会・交流会） \*
- \* 10:00 ~ 10:10 川越駅・本川越駅 集合 \*
- \* ↓ \*
- \* 10:30 ~ 11:40 不老川 不老橋～砂久保橋付近 \*
- \* ↓ \*
- \* 12:55 ~ 13:20 入曽多目的広場・林川浄化施設 \*
- \* ↓ \*
- \* 13:30 ~ 13:45 還流事業放流口 \*
- \* ↓ \*
- \* 14:00 ~ 14:15 不老川 西武新宿線鉄道橋付近 \*
- \* ↓ \*
- \* 14:30 ~ 16:00 交流会 \*



3

## 【入曽多目的広場・林川浄化施設】

埼玉県の担当の方から、入曽調節池と林川浄化施設について説明がありました。入曽調節池は、不老川の中で位置付けられている3つの調節池（月見台調節池（計画）、入曽調節池、大森調節池）の1つで、通常時は多目的広場として活用されている。この調節池は、下流への浸水被害軽減のため、平成6年から10年にかけて河道改修に先行し、計画容量8万4300m<sup>3</sup>で整備を実施しており、更なる下流への浸水被害軽減に向けて、本調節池から不老川を隔てた場所に計画容量5000m<sup>3</sup>ほどの調節池がほぼ完成しているとのこと。5月16日の集中豪雨時にも、この調節池に水が入り、効果を確認しているそうです。

林川浄化施設は、不老川の支川である林川の水を浄化し、不老川の水質向上を図る目的で整備された施設です。浄化の方法は、球状砕石集合体（写真参照）が水や空気の流れに変化をつけることにより、多様な微生物を生息させ汚濁物を分解し浄化する球状砕石集合体浄化法により実施されているとのこと。

参加者の皆さんは浄化施設の中まで入り、施設を見学していました。



入曽多目的広場を見学



球状砕石集合体



林川浄化施設の内部を見学

4

## 【還流事業放流口】

不老川流域川づくり市民の会代表の方から、還流事業の現状についてのお話がありました。還流事業放流口からの放流水は、計画上の放流量より少なく、水質も計画上のBODより高い数値で放流されているとのこと。また、本事業のもとの目的は、川の水が少ない時にきれいな水を持ってきて流すことで、一定の水量が確保されている状態であれば、放流する必要は無く、不老川の上流までポンプアップする費用もかからないなどの指摘がありました。



還流事業放流口を見学



還流事業放流口付近で説明

5

## 【不老川 西武新宿線鉄道橋付近】

西武線と不老川が交差するポイントでは、西武線橋脚の影響により、河道幅が十分にとれず上流側に浸水の影響が出ているとのこと。この状況に対応すべく、河川改修が計画されているが、川幅が広がることによる樹木の伐採は避けべきだ、と参加者の皆さん。

河川改修により伐採が懸念される林



西武新宿線鉄道橋付近の不老川を見学

6

## 交流会 【狭山市立中央公民館】



見学会終了後に、狭山市立中央公民館で交流会が開催され、見学会の参加者のうち15名、荒川下流河川事務所2名と埼玉県担当者2名の間で活発な意見交換が行われました。

意見交換に先立ち、参加者の要望により、不老川でこれまでに実施された事業と今後の計画について、河川整備・調節池・水質の観点から県担当者による説明がありました。

交流会での意見交換の概要は以下のとおりでした。



### 水生生物について

- ・現在実施中の工事の影響により、川が濁っているため、不老川を溯上してくる魚が少ないのが残念である。
- ・不老川では、落差工が取り除かれました。今年、魚類調査が5箇所で行われるため、落差工を取り除いた効果が確認できることが期待されます。

### 空堀川について

- ・不老川と空堀川は、よく似た性格を持っていると言われています。本日、見学した不老川での取り組みは大変参考になりました。

### 河川沿いの樹木について

- ・砂久保橋のたもとに生えているエノキの木を伐採せずに残してほしい。
- ・柳瀬川金山公園において、ケヤキの木を伐採する予定であったが、その後の協議で伐採は取りやめとなり、現在ではよい景観ポイントとなっています。また、新河岸川の清流橋においても、樹木を残すことができるように、護岸の計画を再検討し、移植するといった配慮をしていただき、大変ありがたく感じました。今後、不老川で実施される河川整備でも河川沿いの樹木を残すよう努力してほしいと思います。

➡ 砂久保橋のたもとにエノキの木が生えていますが、橋の架け替えに伴い上流側に歩道をあらたに設置するため、エノキの伐採を止めることは今の状況からは難しいと考えます。エノキの伐採は、道路計画ともかかわるため、この場で川づくりの話題としては議論できません。4.6kmのところにもエノキの木があるが、この木に関しては、残す方向で検討しています。

### 河川改修のスピード

今回の不老川の工事は範囲が広く、急激に進んでいます。6月に改定された「美しい山河を守る災害復旧基本方針」では、河川特性、環境特性、周辺状況へ十分に配慮することとされているのに対して、矛盾を感じます。自然を守るということは、急激な変化は望ましくありません。本来は、もう少し時間をかけて実施すべきと感じています。浸水被害を受けている人と環境を守りたい人とのバランスをどのようにしていくかが難しい問題です。どうしても工事が必要などに対しては、事前調査やモニタリングを実施するといった対応が望まれます。

### 河川流量が少ない河川について

水循環を考えたときに、下水の処理施設はすべて下流部に整備されています。これに伴い、上流部の河川流量の不足が生じています。空堀川のように、河川流量が不足している河川においては、小型の合併浄化槽を設置するなど、下水を近場で処理し、川に戻す取り組みが望ましいと考えます。

## アンケート

- ・今回の見学会の経過を見る企画を続けてほしい
- ・砂久保橋のエノキや西武新宿線鉄道橋のケヤキを残してほしい
- ・不老川の入曽地区に関しては、西武新宿線鉄道橋以外は、あまり手を加えずに、現在のままで良いように感じました
- ・前回（第9回）とは違った新しい勉強ができ、大変有意義でした
- ・均一的な河川断面を改善すべきであると感じました
- ・交流会での発言が活発で、新鮮な意見を頂き、川づくり活動をしている会のメンバーとして元気を頂けました
- ・洪水対策を実施する場合に自然をいかに残すかを今後の計画で考えてほしい
- ・他の流域の団体から貴重な意見が聞けて良かった



# 報告! 新河岸川流域 リレーフェスティバル!

今年も新河岸川のリレーフェスティバルとして、各支川で川まつりが7月から8月にかけて、合計8箇所で開催されました。残念ながら、富士見江川の川まつりは雨天のため中止となりましたが、その他の川まつりは無事行われました。それぞれの会場では、川そうじ、川あそび、川の生きもの探しなどが行われ、参加した皆さんは普段とは違う川とのふれあいを満喫した様子でした。今号では、7月に5箇所で行われた各支川の川まつりの模様をレポートします!

## \* 落合川 \* \* \* \* \*

**<前夜祭>**

日時：7月15日(土)  
 場所：不動前広場(東久留米市)

内容：17:00 模擬店開始  
 17:55 前夜祭開始  
 18:00 コンサート  
 【太鼓演奏(ラッコ)、バンド演奏(ブルーアワー)、沖縄民謡(黒潮の道)】  
 19:30 子供向け映画会  
 【「くまの子ウーフ」「モチモチの木」「オバケちゃん」】  
 20:45 終了

**<川あそび>**

日時：7月16日(日)  
 場所：不動前広場(東久留米市)

内容：10:00 川そうじ開始  
 13:00 川あそび開始  
 【一本橋渡り、ゴムボートのり、「水ガキ講座」、スイカ割り、水ガキ大賞】

主催：わくわく川掃除&川あそび実行委員会

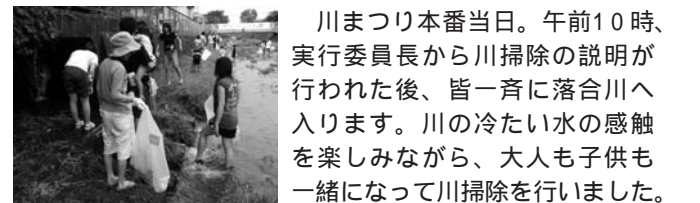
今年で13回目を迎えた落合川の川まつり。13年もの時間を重ねると、当時小学生くらいの子どもたちも大きくなり、ボランティアとしておまつりを支えてくれているとのこと。「ほら、あそこにいる子いるでしょ。あの子ども小学生のころからおまつりに来ていて、今では近所の子供たちとともにボランティア活動をしているんですよ」と川まつり実行委員長の菅谷さんはいいます。このようなイベントを開催することで、川を守る活動を次世代につなげていくことも、川まつりの大きなテーマだそうです。川まつり開催当初は前夜祭もささやかなものだったそうですが、今年の前夜祭では常時150人以上の人でにぎわっていました。川まつりを支えるボランティアの数も増え、地域の川を守る活動を続けてきた成果は着実に現れています。



「少しでも川環境に貢献できればと思います」と話す「ラッコ」の皆さん

川まつり本番に先駆けて、前日の15日、午後5時より前夜祭が行われました。会場には、焼きそば、カキ氷などおなじみの模擬店をはじめ、地元の東久留米市内で営業している本格派インド料理のお店も出店。午後6時から行われたコンサートでは、地元お母さん

たちの有志により活動している太鼓グループの「ラッコ」、世界を目指す市内在住ミュージシャンの「ブルーアワー」、「黒潮の道」による沖縄音楽の演奏が行われました。川べりの心地よい風に吹かれて、子供も大人もさまざまな音楽に聴き入る中、空には虹も現れ、川まつりを応援してくれていました。午後7時半からは、子供たちの待ちに待った映画上映会が開始! 広場に設置されたスクリーンに映る、少しセピアがかった映像に皆、見入っていました。



川まつり本番当日。午前10時、実行委員長から川掃除の説明が行われた後、皆一斉に落合川へ入ります。川の冷たい水の感触を楽しみながら、大人も子供も一緒になって川掃除を行いました。

川から上がると、ごみと引き換えにフィールドブック、三宅島産木炭のプレゼント! さらに豚汁もふるまわれ、皆、舌鼓を打ちながら川で冷えた体を温めていました。午後はいよいよ川あそび。ロケット風船の打ち上げで川あそび開始です。まずは川の水を使った温度変化の実験あそび。昨夜の前夜祭で作った風車を広場周辺に置いて、一斉に打ち水開始! 天気具合もあつたせいか、今年の結果は今いちでしたが、子供たちはおおはしゃぎ。続いて、掃除してきれいになった川へ入って水あそびタイムへ突入! こどもも大人も一緒になって魚とりを楽しんだり、ゴムボートに乗ったり、竹の一本橋を渡ったり。川から上がった後にはすいか割りも行われ、恒例の「水ガキ」対象の授賞式をもって、今年の川まつりは終了となりました。



小さな子のボートを引く年長の子供たち

落合川の川まつり恒例・すいか割り

竹の一本橋渡れるかな?

## \* 柳瀬川(志木) \* \* \* \* \*

日時：7月16日(日)  
 場所：志木中学校前の柳瀬川土手(志木市)

内容：9:10 あいさつ・全体の説明  
 9:20 水生生物調査  
 9:50 投網の実演・川での安全管理の実演  
 10:00 瀬渡り・お魚釣り  
 10:50 お魚説明  
 11:20 川の話など  
 終了

主催：NPO法人エコシティ志木(財)埼玉県生態系保護協会 志木支部

こどもとおとなの自然塾「お魚と遊ぼう」が志木中学校前の柳瀬川で開催されました。前日までの雨が一転、暑い一日となりました。こども34名、おとな22名、スタッフ13名の合計69名が集まり、楽しみながら川について学びました。



投網のデモンストレーション

水生生物調査では、川の石の裏に普段見慣れない生き物たちに興味津々でした。水生生物からみると、「少きたない」~「きたない」にかかる生き物が多かったため、柳瀬川の水质は「きれい過ぎず、きたな過ぎず」といった所でしょうか。

瀬渡りは、対岸のお魚釣り場へ移動するためにに行いました。川では水位に関係なく川の勢いに押されて流されてしまうこともあるため、瀬渡りを行う前に、ドライスーツに身を包んだエコシティ志木の小島さんによる「川に流される実演」が行われました。「足がつくから大丈夫じゃない?」という声もありましたが、みるみる下流に流されていく姿に一同びっくり! その後の瀬渡りでも、川に直接触れることで、川への親しみと同時に怖さについても学ぶことができました。

今日の柳瀬川水族館

【お魚】  
 ナマス、オオクチバス、ヌマチチブ、ウキゴリ、モツゴ(クチボソ)、ドジョウ、ボラ、ギンブナ、ウグイなど

【水生生物】  
 テナガエビ、スジエビ、ヌマエビ、アメリカザリガニ、シマイシビル、シジミ、アメンボ、コオニヤンマのヤゴ、ガガンボの幼虫、トビケラの仲間など



この魚の名前を知っている人? モツゴ!!! 子供たちが魚の名前を良く知っていることが分かり、感心しました



会場では水生生物調べの経過を記録する手帳が配られました

お魚釣り後の説明では、エコシティ志木の小島さんから、捕ったお魚の特徴や名前などについて説明があると、はしゃいでいたこどもたちも静かになり、興味深く聞き入っていました。また、柳瀬川においても外来種が増えてきていることが心配されており、この日のお魚釣りでも3匹のオオクチバスが捕まりました。

運営スタッフの方々は、お魚を捕まえて喜ぶこどもたちの笑顔が活動の励みになること、また最近水に関わる事故が多いことから、安全管理に充分注意を払いながら実施しているとのこと、などを話していました。エコシティ志木や埼玉県生態系保護協会志木支部では、このようなイベントの他、学校の総合学習の講師など様々な形で地域に貢献しています。3月~11月の第三日曜日には、志木中学校の前に柳瀬川の魚類調査と捕れたお魚を展示する「柳瀬川・水族館」(同時開催「柳瀬川・野鳥ウォッチング」)を実施しています。お近くにお越しの際は、ぜひご覧ください。

## \* 東川 \* \* \* \* \*

日時：7月22日(土)  
 場所：東中学校前(所沢市)

内容：9:10 ごみ拾い開始  
 9:25 ごみ分別  
 泳いでいる魚チェック  
 9:30 開会  
 9:40 水しらべ講座  
 水生生物しらべ  
 ミズガキ講座  
 さかな教室  
 11:00 ふね遊び  
 12:00 終了

主催：東川を愛する会

東川にて「第4回川まつり(身近な川しらべ)」が開催されました。前日までの雨の影響もあり、昨年より若干少なめでしたが、73名が参加。行政や学校からも大勢の参加者が集まりました。

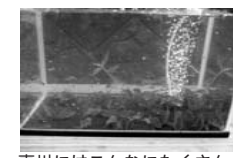
イベントは、ごみ拾い、水しらべ、ミズガキ講座(魚とり)、さかな教室(魚の解説)、ふね遊び等。川まつりは、主催する「東川を愛する会」のモットーでもある「自分たちで川をきれいにし、川の状態を知り、そして川で遊ぶ」を実践する内容でした。参加した子供たちは、目を輝かせながら、魚とりやふね遊びに熱中していました。子供はやはり、生き物が大好きなんです。川の影響としては、以前に比べ



まずは川にごみ拾いを実施



大人に教わりながら生き物をさがす子供たち



東川にはこんなにたくさんの魚がいました



カモも間近に観察できました



通称:ミドリガメ。ペットが大きくなりすぎて家で飼うことができずに、川に離されたのでは

【今日の水しらべ講座】  
(川端橋 9:00)

- ・気温 25
- ・水温 22
- ・透視度 120cm
- ・COD 8ppm
- ・PH 7.5
- ・NO2-N 0.2
- ・NH4-N 0.2

【今日の水生物しらべ】

【魚7種】  
 コイ、ギンブナ、モツゴ、メダカ、ドジョウ、ヨシノボリ、タモロコ

【水生生物】  
 トビケラ、カゲロウ、ミズムシ、ヒル、モノアラガイ、ザリガニ、オタマジャクシ、ミシシッピアカミミガメ

家庭排水が少なくなったため、水環境や水質は良くなってきているとのことでした。ただし、COD値は、8ppm 昨年より少し高めでした。

魚については、例年に比べ、たくさんの魚が採れたものの、種類は減っており、大きさも小ぶりになったとのこと。魚が隠れることのできる場所が少なくなり、鳥に食べられたのではという意見もありましたが、もしかしたら雨の影響もあったのかもしれない。また、水環境が改善しつつあることから、魚の世代交代が進んでいる様子が見れとれました。



バックテストの後は水しらべ

7月17日(月・祝)に予定されておりました富士見江川の川まつりは雨天のため中止となりました。



### \* 柳瀬川(清瀬) \*



- \* 日時: 7月29日(土)
- \* 場所: 台田団地前の柳瀬川(清瀬市)
- \* 内容: 9:30 あいさつ、注意事項等説明
- \* 9:50 川の生きもの探し
- \* 10:30 川あそび
- \* 11:30 反省会
- \* 主催: 第4小学校せせらぎ探検隊運営委員会



今日の水族館には何がいるかな?  
ペットボトル製いかだが登場!



「子ども達が大人になったとき、この体験を何かに生かしてもらえれば」と語る清瀬市の東田教育長

第4小学校せせらぎ探検隊主催による川まつりが清瀬市台田団地の桜並木を流れる柳瀬川で開催されました。今回の川まつりは清瀬市第4小学校の生徒に清瀬市第10小学校の生徒も加わり、総勢約80名による柳瀬川の自然探検となりました。



「マルタウグイ」ってどんなお魚?

最初に、平井校長先生や川づくり・清瀬の会の宮澤さんから、「川は生き物の宝庫、魚とりやボート遊びなどとても楽しいところですが、川遊びには命を守るためのルールがあります」と、川あそびの楽しさ発見や、流れの速さや深さの違いを体験しようとお話がありました。

だいぶ前から遡上し、木陰の水底にじっと並ぶマルタウグイを観察後、早速、川づくりの皆さんに手ほどきをもらい魚とりです。たも網を片手にいっせいに川の中へ。川岸の草の中から、ドジョウ、フナ、ヨシノボリの仲間、エビなどをが取り、「ヤッター！」の歓声が聞こえてきます。

投網で取れたアユやオイカワなどもあり、水槽はとてにぎやかです。

次は、手づくりの防水ダンボールやペットボトルのいかだで川遊び。柳瀬川の緩やかな流れも、この時ばかりは水しぶきで大荒れです。子どもたちは、普段は入れない自然の川で元気がいっぱい遊びました。



手づくりのいかだで柳瀬川ライン下り!



魚取りに夢中になった子どもたち

川まつりの最後には、生きもの探しで獲れた魚の説明をはじめ、反省会が行われました。「川遊びはとっても楽しかった!」「来年もやりたい!」など、清瀬の子どもたちはボート遊びや魚取りに夢中になった様子。川の生き物に触れ、川に親しみを覚えた子供たちはまだまだ遊び足りなさそうでした。運営委員会の皆さんもご苦労様でした。

### \* 北川 \*



- \* 日時: 7月30日(日)
- \* 場所: 北山公園(東村山市)
- \* 内容: 10:00 あいさつ
- \* カヌー遊び、北川ウォーク、八国山虫取りハイクなど
- \* 16:00 水生生物捕り
- \* 主催: 第11回北山わんぱく夏まつり実行委員会

【捕獲した魚・水生生物】  
モツゴ(クチボソ)、ドジョウ、オオクチバス、スズエビ、タモロコ、金魚、オイカワ、ギンブナ、ナマズ、トウヨシノボリ、ニホンアカガエル、トウキョウダルマガエル、ヒメタニシ、サカマキガイ、アメリカザリガニ

【捕獲した昆虫】  
オオヒラタシデムシ、アオオサムシ、コフキコガネ、センチコガネ、カブトムシ、ノコギリカミキリ、クロカナブンなど



バババ、こんな虫が採れたよ~



北川ウォークの様子  
魚を捕まえられるかな?

第11回「北山わんぱく夏まつり」。夏休みに入り、初めて、晴天に恵まれた週末ということもあり、大勢の参加者が集まりました。夏まつりは、北山公園とその周辺の恵まれた自然のなか(北川、八国山緑地)開催されました。

北山公園内では、北川水族館(北川で当日捕獲した魚や水生生物の展示)や出店、子どもプール、縄文火おこし、紙芝居、エイサーやオールデイズのライブ。北川では、北川ウォーク(川の中を歩き、魚探し)やカヌーあそび。八国山では虫取りハイク(昆虫探し)が行われました。



うまくカヌーに乗れるかな?

示されました。年々、オオクチバスの数が増加しているため、今後、魚の種類や数が減少する恐れがあります。実行委員会の中心団体である北川かっぱの会では、河川の環境を守るために、今後、オオクチバスの捕獲・駆除等の積極的な対応が必要であると考えています。

毎年大人気のカヌー遊び。長い行列を作って待ち、日ごろ乗ることのできないカヌーを楽しんでいました。はじめは上手に乗れなかった子供たちも、だいぶ上達しました。

子供たちの一番大人気は、虫取りハイク。60人以上の子供たちが集まり、カブトムシやクワガタを捕まえようと、一生懸命に森の中を歩き回りました。参加したお父さんたちも、子供のころを思い出しながら、昆虫を探していました。

最後にみんなでエイサーの歌で、盛り上がり、川まつりは終了しました。

## 国土交通省からのお知らせ

### 荒川知水資料館(amoa)ワークショップ

荒川知水資料館(amoa)では荒川に触れることが出来る機会として年間を通じて様々なワークショップを開催しています。

#### ◆ 荒川水難救急講座 知っておこう水辺のファーストエイド

~水遊びで悲しい思いをしない為に~

水辺の事故の予防・救急についてのワークショップです。水遊びで悲しい思いをしない為に水の事故の実態や現象を学びながら、水辺での事故の予防方法を学びます。もしもの時に的確な対応が出来るよう、この機会に是非学んでみませんか?

- ・日時: 9月23日(土) 第1回 10:00~12:00 第2回 13:00~15:00  
各回開始30分前に集合

- ・場所: 荒川知水資料館(amoa)
- ・講師: 岡野谷 純 氏(日本ファーストエイドソサエティ代表)
- ・対象: 中高生以上・大人
- ・内容: ◆水の事故の実態 ~統計から見る水の事故~  
◆水だから起こる現象 ~川の流れるに関連する危険、起こりうる異常 溺水、低体温など~  
◆水辺のファーストエイド ~まずは自分を助ける「命を守る着衣泳」、新しい応急・救命手当~  
◆水辺の事故は予防できます ~ファーストエイドキット、安全グッズを知ろう~

- ・募集人数: 40名(各回20人 先着順、定員に達し次第締切)
- ・持ち物: 動きやすい服装(スカートは避けてください)
- ・費用: 無料
- ・申込み: はがき・電話・メール・直接資料館受付のいずれかで、参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号をご連絡下さい。

【受付開始】9月2日(土)



#### ◆ ボート(漕艇)教室

~荒川で4人乗りボートを漕ごう~

本格的な4人乗りボートの漕ぎ方を学ぶワークショップです。ナックルフォアの正しい漕ぎ方を専門の講師からわかりやすく教えてもらえます。今年のスポーツの秋は、荒川で水上スポーツを体験してみませんか?

- ・日時: 9月30日(土)  
第1回 10:00~11:30 第2回 11:00~12:30  
第3回 13:00~14:30 第4回 14:00~15:30  
各回開始30分前に集合  
小雨決行

- ・場所: 荒川知水資料館(amoa)で受付 荒川岩淵水門周辺水域
- ・講師: 東京都ボート協会、水資源ボートクラブ、日本ボートマンクラブ
- ・対象: 一般(小学校5年生以上~高齢者まで)の健康な方  
小学生は保護者同伴、親子での参加歓迎します!
- ・内容: ナックルフォア(4人漕ぎの安定のよいボート)による初心者教室
- ・募集人数: 48名(各回12人 先着順、定員に達し次第締切)
- ・持ち物: 足の屈伸など運動ができる服装(Tシャツ・短パン等)、厚手の靴下、タオル、帽子、飲料水
- ・費用: 300円(保険代)
- ・申込み: はがき・電話・メール・直接資料館受付のいずれかで、希望時間(第2希望まで)、参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号をご連絡下さい。

【受付開始】9月9日(土)



#### 問合せ先

〒115-0042  
東京都北区志茂5-41-1  
荒川知水資料館 ワークショップ事務局  
【TEL】03-3598-2134  
【メール】amoa-ws@arago.jp  
【受付時間】10:00~16:00(月曜日を除く)  
(月曜が祝日の場合は火曜休館)